

令和5年度川南町「地域と学校の絆を育む体制整備推進事業」

〈事業目的〉

【学校における学びの連携・協働～Team Kawaminami 学びのネットワークづくり～】

川南町には多くの教育資源や人材があり、これらを、学校を核として活用することで学校と地域が連携・協働し、地域全体で川南町の未来を担う子供を育成して地域創成を図る。この事業を川南町民総ぐるみで取り組んでいる「川南町の人づくり教育」の一つとして捉え、町の教育目標である「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい川南の人づくり」の具現化を推進する。

【地域における学習支援・体験活動～放課後子ども教室・かわみなみ開拓塾・公営塾～】

地域の方々の参画を得て、子供たちと共に、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流を行い、自主性・責任感・協調性・創造性を養い、ふるさと川南に対する誇りや愛着を育む。また、活動を通じ、社会性を身に付け、リーダーとしての資質を高める。

〈課題〉

[課題の種類1]

学校運営上の課題

[課題の種類2]

その他

[課題の詳細]

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、一部の地域住民がボランティアとして授業支援等に参画しているが、一体的推進についての教職員及び地域住民の理解不足が課題となっている。

[上記課題解決のために取り組むこと]

・夏期休業中の職員研修に、一体的推進に係る研修を位置付けることで、地域学校協働活動推進員と教職員の共通理解を図る。

・推進員及び教職員の合同研修会の回数を増やすことで、学校運営協議会と地域学校協働本部との連携を強化し、組織の充実を図る。

・町の広報誌などを活用し、一体的推進について地域住民に周知する。

[本事業で達成する目標]

地域と学校の共通の課題を共有し、同一の目標をもつことにより一体的推進への理解が深まり、地域全体で行う川南の人づくりを推進する。

[達成度を測る指標]

一体的推進について理解している教職員及び地域住民の割合

[事業における成果、課題、改善点等]

本年度の本年度の実績値 30%

各学校・各自治公民館への地域学校協働活動推進員の訪問回数を増やし、それぞれに対して地域学校協働活動についての説明及び支援は行ったが、一体的推進がどういったことか理解している教職員や地域住民が増加したとはいえない。

地域学校協働活動推進員として接点を持つ相手が限られるため、改めて研修会等の開催の必要性を感じた。また、学校への支援については知名度が上がってきたものの、現時点では先生対地域住民というつながりになっているため、学校と地域というつながりにしていく必要がある。

来年度に向けた課題

来年度も引き続き、学校運営上の課題(社会に開かれた教育課程)に取り組んでいきます。

コミュニティスクール及び地域学校協働活動の意義やねらいについて、学校教職員及び学校運営協議会委員の理解が一部不十分であるため、明確な目指す子ども像や学校像、地域像等の共有を行います。

これまでも管理職に対するコミュニティスクール及び地域学校協働活動の意義や狙いを伝えてきたが、令和6年度以降は学校教職員(全教職員)及び学校運営協議会委員を対象にした、コミュニティスクール及び地域学校協働活動の意義や狙いを学ぶ研修会の実施や町教育委員会(地域学校協働活動推進員3名を中心に)から各学校への指導・助言に力をいれる。